

報道関係者各位

control arms

「コントロール・アームズ」日本キャンペーン

——緊急プレス・リリース——

大波乱の国連サミット: 小型武器の問題を放置しないで!!

14日からニューヨークで開催される、史上最多の首脳が出席する「国連ワールドサミット」。ここで採択が目指されている成果文書に向け、各国による議論は稀に見る大混乱に陥っています。今回のサミットは、開発、安全保障と人権に関して国際社会が取り組むべき問題について合意がされる、非常に重要な会議です。これまで小型武器の規制について様々な意見が出され、成果文書のなかで小型武器の問題が扱われる方向で議論が行われてきました。しかしその努力は、直前になって修正を要求してきたほんのわずかの国々の反対によって水の泡になることが懸念されています。ニューヨークでは先週から数回にわたる文書修正が行われているものの、いまだ成果文書合意の目処はたっており、最終的に小型武器についての文言は大幅に弱められるかカットされる可能性があります。

国連サミットにおいて小型武器の問題が放置されることは、開発、安全保障と人権を脅かす重大な問題が野放しにされる危険があることを意味します。そして日本政府もこれまで数々のイニシアティブをとってきた国連小型武器会議のプロセスが軽視されることは、これまでの日本政府の努力を無駄にしてしまうことも意味します。

「事実上の大量破壊兵器」と言われる小型武器の氾濫と不正使用によって、多くの人が命を落とし、傷を受け、家を追われ、生活を奪われています。このような状況が続く限り、人々の安全は保障されず、長期的な平和は阻害され、貧困から逃れる機会を奪い去られ続けます。

コントロール・アームズ日本キャンペーンは、成果文書に以下のことを明示する文言を含めることを緊急に求めます。

- 小型武器の拡散と不正使用が開発、安全保障と人権を脅かすことの認識
小型武器の規制の重要性の認識
- 2001年の国連小型武器会議で合意された行動計画についてのこれまでの成果の認識
行動計画のより完全な実施のために努力を続け、2006年の再検討会議において更なる行動が約束されるべきとの認識
- 小型武器の移転に関する国際的な取り決めについて合意し実施する必要性の認識

これまで国連小型武器会議のプロセスのなかで一定の役割を果たしてきた日本政府。2006年は、国連小型武器会議の再検討会議が行われる、重要な年です。国連総会のピン議長は成果文書について合意に達するために15カ国からなるグループを設置しました。日本はそのグループのメンバーとして、大きな影響力を持っています。開発、安全保障と人権を脅かす小型武器の問題を国際社会が放置しないように、最終合意に向けて取り組んでください!!

control arms 「コントロール・アームズ」日本キャンペーンとは

現在、世界中で多くの通常兵器武器(小型武器や重兵器)が出回り、不正使用によって多くの人々の命が奪われ、人権が侵害され、生活が脅かされています。2003年10月に開始された国際的な「コントロール・アームズ」キャンペーンは、そのような被害に歯止めをかけるべく、様々なレベルでの取り組みを求めるものです。日本でも2004年以降、NGO5団体により日本キャンペーンが展開されています。

——ご連絡・お問い合わせ先——

特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン 担当:夏木

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2 階

Tel:03-3834-1556 Fax:03-3834-1025 E-mail: midori@oxfam.jp